

《白の中の鉛筆の華》1960年

清川泰次のアトリエⅢ

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)

開館時間=10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日=毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料=一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円

*障害者の方は100(80)円。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

* ()内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日は無料。

交通案内=小田急線「成城学園前」駅 南口徒歩3分

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL:03-3416-1202
www.kiyokawataiji-annex.jp/

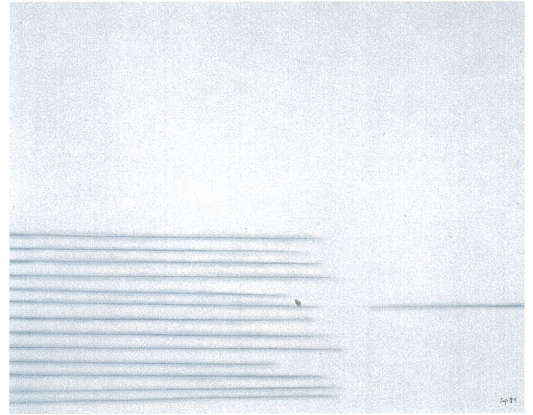
清川泰次のアトリエⅢ

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)

絵画を構成する大事な要素のひとつである線。

独自の抽象的な表現を探究した清川泰次(1919-2000)の絵画には、様々な表情の線が登場します。油絵具で塗りこめた画面の上を引っ掻いてできた鋭い線、チューブから直に絞り出した立体的な線。あるいは縦横無尽に自由に引かれた線や、勢いのある力強い線。そして白い画面に微かにひかれた線……。

本展では、こうした線の可能性を探究し続けた清川泰次の絵画、約15点をご紹介します。線が奏でる豊かな世界をご堪能ください。



(Painting No.2884) 1984年

一瞬
真剣
勝負
の
直裁が
流れる

いつも
筆が
キャンバスに
近づく時

(清川泰次「絵と心」1967年「一瞬」より)



《池の緋罍-59》1959年



《季節の外-59》1959年

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202
www.kiyokawataiji-annex.jp/
交通=小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。温かみのあるモダンな建築の前には芝生が広がり、四季折々の草花が咲きます。

当館は、清川泰次のアトリエ兼住居だった個人宅を一部改装したもので、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気でご鑑賞いただけます。

併設された区民ギャラリーは、区民の方々の創作活動の発表の場として、週単位で、様々な展示が開催されています。(展示予定はホームページをご覧ください)

清川泰次の作品を展示している小展示室では、お茶を飲みながらゆっくりと関連図書などをご覧いただけます。



©宮本和義

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代)
ハローダイヤル 03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp/
*詳細はホームページなどでご確認ください。

[企画展]

生誕100年 松本竣介展 11月23日(金・祝)～2013年1月14日(月・祝)

エドワード・スタイケン写真展 2013年1月26日(土)～4月7日(日)

モダン・エッジの光と影1923-1937

[ミュージアムコレクション]

高橋秀の世界 版画1959-2000 2013年1月25日(金)～4月21日(日)

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581 www.mukaijunkichi-annex.jp/

向井潤吉とふるさと・京都

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)



©宮本和義

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

宮本三郎のデザイン教室

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)



©宮本和義